

学力向上に効果のある取組事例

豊後高田市立 田染中学校

⑪校内研修などによる授業改善

取組の具体①

○OUT PUT型授業の実践③

単元計画や授業構想において、OUT PUT重視の授業づくりを全教科で実践した。

- ・課題に取り組む際、個で考える時間を必ず確保する。
- ・個々の生徒で考えさせた後に、グループ交流をさせて考えを共有→ブラッシュアップし、最後に個人がそれぞれの考えをまとめる（ノート・発表など）。
- ・実験の観察時に予想と考察をレポート内に記述させたり、発表を行ったりしている。また、各単元ごとの要点を文章でまとめ、相互チェックすることにより、自分の言葉で説明できる力を育成している。
- ・計画的に互見授業を実施する。その後、互いに気づいた点を伝え合う。
- ・英語科においてT2体制を取り入れたり、授業の流れをカードで掲示したりすることできめ細かい指導を行うようにしている。
- ・授業で演習の時間を多めにいれ、自分で解き方のポイントをまとめる時間を取る。



取組の具体②

○家庭・地域との協働⑮

【よりよい生活づくりキャンペーン】家庭・地域と連携し、毎日、規則正しい生活（早寝・早起き・朝ごはん）を送り、家庭学習の習慣化を目指す取組を実践した。

- ①家庭での生活状況について、就寝時間・起床時間・メディア使用時間・学習時間を毎朝、生徒が専用シートに記入し回収する。
- ②回収したシートをもとに集計した結果から、CS委員の方が、学年別の生活パターンの分析をする。
- ③分析結果を期末保護者会で、生徒・保護者・教職員に対して発表し、現状の共有をする。
- ④それぞれの学年の課題を、生徒・保護者・教師が認識し、連携し合い、生活改善につなげていく。

※「だめだから直しなさい」ではなく、「現在こういう状況だけど、どうしようか？」という、課題を提示して考える形にしている。

※昨年度後半から始めた取り組みであるが、生活状況の改善が見受けられた。



CS委員による分析説明

テスト計画表